



3 梁のあるマンションや賃貸スペースでも設置できます。

安全性を考慮し、壁面収納の多くは設置する背面の壁と固定するようにしています。しかし賃貸住宅の場合、壁の加工ができないため、「自立型」の壁面収納が最適です。収納上部と天井との間に突っ張り式の補助具を据え付けることで、壁を傷つけることなく固定できます。



4 転倒防止やストッパーなど地震対策もバッチリ!

地震などの揺れでも転倒しないよう、収納本体の多くはユニット同士を固定しています。また、割れても飛散しにくいガラスや、ゆれを感じると施錠する耐震ロックの採用など、より安全性の高い商品も揃っています。



one more ヒント

洗面所、廊下、個室... さまざまな場所でも活躍!

壁面収納はリビングやダイニングのほか、洗面所や廊下などさまざまな場所で活躍します。スペースが狭い場所ほど、効果的な空間になるはず。もちろん寝室や子供部屋など、一般の居室にもうってつけ。アイデア次第でどんなスペースも機能的な収納空間をつくれます。



壁面収納ショールームにお越し下さい!

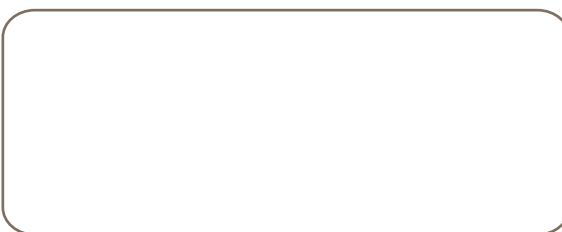
ルームスタイリング・リラiefでは、ここでご紹介した壁面収納の商品を数多く展示しています。ぜひ実物を見て、触れてお確かめください。

尚、会員制ショールームのためご紹介社と事前のご来場予約が必要です。詳しくは下記販売店にお問い合わせください。



コラボレーション・ショールーム
ROOM STYLING RELIFE
住所: 埼玉県越谷市流通団地1-1-13
営業時間: 午前10:00~午後5:00
HP: <http://room-styling.com/>

お問い合わせ、ご注文は当店へ



壁面収納

さまざまなものがあふれる室内。
ケーブルやコードも丸見え。
そんなお部屋の解決策が壁面収納です。室内スッキリ、リビングに設置すればグレードが何倍もアップしますよ!

壁面収納にする メリットってなに？

1 オーダー感覚で 室内にぴったりフィット！

お部屋に合わせて、ムダなく収納力とインテリア性をアップできるのが壁面収納の魅力。天井までの空きスペースや、マンションに多い梁にも対応できます。デッドスペースを少なくして、室内もすっきり。壁面のアクセントにもなる上、収納力も抜群です。



2 モノに合わせて扉や引き出し あるいはオープンに。

壁面収納の魅力は収納したいモノに合わせて自由にユニットを組み合わせ、扉や引き出しをつけることができること。もちろん扉を付けずにオープンに見せるスタイルもあり、そこはセンスの見せ所。隠す、見せるの上手な使いこなしが、室内のインテリア性を高めるコツです。



壁面収納の組み合わせのポイントはココ！



収納したいものによって、
奥行きが変わってきます。

何をしまうかによって、壁面収納の奥行きは大きく変わってきます。一般的な本類をしまうためだけなら、奥行き30cm程度ですが、テレビを置くとなると、本体はもちろんチューナーやレコーダー等の関係から奥行きは45cm程度あると便利です。さらに洋服をおさめるクローゼットとして使いたいなら、奥行きは55cm程度必要になります。

壁面収納は奥行きが違うキャビネットの組み合わせも可能ですので例えばテレビ台のある下段は奥行き45cmタイプ、上部は30cmタイプとしてスリムにまとめることも可能です。奥行きサイズによって、室内の印象も大きく変わってくるので、部屋の広さと目的とをうまくマッチさせて上手な組み合わせをご検討ください。



決め方は収納物→ユニット選択→
扉タイプとカラーの順で。

何をしまいたい、どんな機能がほしいかによって、壁面収納の基本機能が固まっていきます。「何をしまいたい」とは、そこに納めたいものについてピックアップし、どの程度のスペースが必要かを検討します。リビングなら書籍やDVD、AVセットだったり、寝室用ならクローゼットとして引き出しやハンガーラック等をチョイスできます。「どんな機能がほしいか」とは、収納以外にどのような機能を盛り込みたいかということ。例えば、お子様用やパソコン用のデスクやテーブルをのぼすこともOK。炊飯器や電子レンジ等、家電品を納める場所かもしれませんね。こうして基本的な構成が決まったら、それに見合ったユニット、素材、扉または引き出し等のタイプ、扉のメンザイやカラーを選んできます。自由な組み合わせで、あなただけの機能的な収納をご計画ください。

